

第1学年国語科学習指導案

平成30年11月26日（月）5校時

1. 単元名 のりものずかんをつくらう 「いろいろなふね」東京書籍1年下

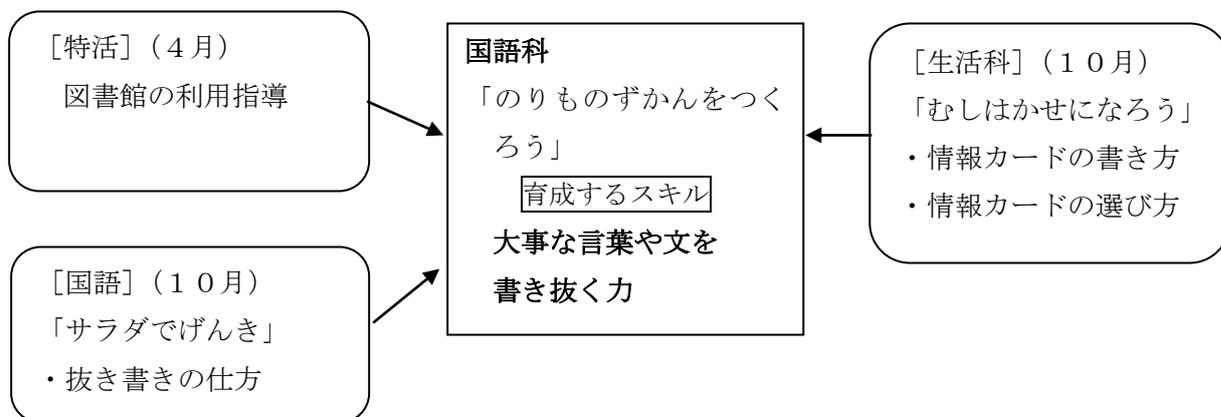
2. 単元目標

- 乗り物に興味をもって教材文を読んだり、好きな乗り物についてほかの本を読んで調べたりすることができる。 （関心・意欲・態度）
- 大事な言葉や文に着目して、書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取ることができる。 （読む能力）
- 主語と述語の関係に注意して文や文章を読んだり書いたりすることができる。 （言語に関する知識・理解・技能）

3. つけたい情報活用能力

- 乗り物について書かれた文章の中から必要な情報を読み取り、大事な言葉や文を書き抜く力 （情報を記録・整理する力）

4. 単元構成モデル



5. 単元指導計画（全13時間）と評価計画

| 次 | 時 | 目標 | 学習過程 | 学習活動 | 評価 | | | 図書館との関連 | |
|---|---|---------------------------------------|------|---|----|----|----|--|--|
| | | | | | 読む | 言語 | 関心 | | |
| I | 1 | ○乗り物についての本を読んだり、調べたりする学習に興味をもって取り組もうと | 見つけ | 学習の見通しをもつ ・船について知っていることを話す。 ・完成した「のりものカード」を見せ、「のりものずかん」をつくるこ | | | ○ | 【関】 乗り物についての本や文章を読んだり、調べたりする学習に興味をもって取り組んでいる。 | ・乗り物について書かれた本や文章の精選を学校司書と連携して行う。 ・ブックリストの作成（学校司書） |

| | | | | | | | | |
|----|--------|---|------|---|---|---|---|------------------------------------|
| | | することができる。 | | とを知らせる・ ・本単元の流れを示す。 ・乗り物読書カードに記入することを伝える。 | | | (行動観察・発言・ノート) | |
| II | 2 | ○教材文の内容の大体を捉え、4つの船が出てくることを理解することができる。 | つかかむ | 「いろいろなふね」に出てくる船を整理する。 ・全文を読み、文章の大体を捉える。 ・4つの船について整理する。 ・形式段落を確認する。 | ○ | ○ | 【読・言】主語と述語の関係に気をつけて、内容の大体を読み取っている。(発言・ワークシート) | ・授業の終わりに設定する並行読書の時間に、学校司書に入ってもらおう。 |
| | 3 4 | ○「やく目」「つくり」「できること」の3つの事柄について、キーワードに気をつけて大事な言葉や文 | | 「きやくせん」について読み取り、カードにまとめる。 | ○ | | 【読】「やく目」「つくり」「できること」を読み取る際のキーワードに気をつけて「きやくせん」について読み取っている。(客船カード・行動観察) | |
| | 5 | を見つけながら、正しく読み取りカードにまとめることができる。 | | 「フェリーポート」について読み取り、カードにまとめる。 | ○ | | 【読】「フェリーポート」の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉を見つけながら読み取り、カードにまとめている。(カード・行動観察) | |
| | 6 | | | 「ぎょせん」について読み取り、カードにまとめる。 | ○ | | 【読】「ぎょせん」の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉を見つけながら読み取り、カードにまとめている。(カード・行動観察) | |
| | 7 | | | 「しょうぼうてい」について読み取り、カードにまとめる。 | ○ | | 【読】「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉を見つけながら読み取り、カードにまとめる。 | |

並行読書

並行読書

| | | | | | | | | |
|----|----|--|-------------------|---|--|---|--------------------------------------|------------------------------|
| IV | 13 | ○自分が調べた乗り物について、カードをもとに発表することができる。 ○友達の発表を聞いて感想をもち、付箋に書いて伝えることができる。 | 伝え合う ・ 振り返る | 「のりものカード」をグループで発表し合い、感想を交流する。 ・自分が調べた乗り物を友達に紹介する。 ・友達の「のりものカード」の感想を付箋に書き、感想交流を行う。 | | ○ | 【関】友達の発表をしっかりと聞いて、感想を伝えている。(行動観察・付箋) | |
| 課外 | | できあがった「のりものカード」を束ねて表紙をつけ、「のりものずかん」とする。「のりものずかん」は、学校図書館に置いて全校児童に見てもらった後、データや作品として視聴覚室に保管し、来年度以降の1年生の学習の参考資料とする。 | | | | | | 学校図書館でのスペース作り、PR 視聴覚室での保管 |

6. 本時の学習

(1) 目標

好きな乗り物の「やく目」「つくり」「できること」に着目して、情報カードに抜き出すことができる。

(2) 本時の展開 (10 / 13)

| | 学習活動 (・児童の反応) | 教師の支援 (○) と評価 (☆) T1 担任 T2 学校司書 |
|----|--|--|
| 導入 | 1 前時までの学習をふり返り、本時のめあてを確認する。 えらんだのりものの「やく目」「つくり」「できること」をじょうほうカードにかこう。 | ○単元の流れを見せることで、前時までの学習を振り返らせると同時に、今後の学習に見通しをもたせる。(T1) |
| | 2 事柄を表す語句の意味、事柄ごとの色分け、大事な言葉や文を見つける際のキーワードについて確認する。 ・「やく目」は「しごと」のことだよ。 ・「つくり」が分かりそうなところはオレンジ色のふせんでしるしをつけたよ。 ・ つんでいます 、 あります が書いてあるところは「つくり」かな。 | ○掲示を活用することで前時までの学習を想起させ、3つの事柄を表す語句の意味、事柄ごとの色分け、キーワードについて復習させる。(T1) |

(3) 本時の具体的な評価

| 十分満足できると判断される状況 | おおむね満足できると判断される状況 | 努力を要すると判断される児童への支援 |
|--|---|---|
| 好きな乗り物の「やく目」「つくり」「できること」に着目し、大事な言葉や文を絞って、情報カードに正しく抜き出している。 | 好きな乗り物の「やく目」「つくり」「できること」に着目して、大事な言葉や文を情報カードに正しく抜き出している。 | 好きな乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を言い換えて、それらが分かる部分はどこかを問い、見つけた言葉や文を指で追いながら読ませる。 |

(4) 研究の視点

○以下の手立ては、児童同士が関わり合いながら自分の考えをもつことができるようにするために有効であったか。

- ①話しながら学習が進められるよう、机をペアの配置にしたこと。
- ②ペアトークで、できあがった情報カードについて意見を交流させたこと。
- ③全体での共有の場面で、ペアトークの一部を紹介し、大事な言葉や文の抜き出し方を考えさせたこと。